

PRESS RELEASE



2013年10月22日

震災の体験や教訓を伝える石巻ユースアンバサダー(青年大使)が 「地球一周の船旅」から帰国、報告会を行います。

先月9日、ピースボートの船旅(使用客船:オーシャン・ドリーム号)が、宮城県石巻市に初寄港しました。約800名が参加したこの船旅は、国際NGOピースボートの30周年記念クルーズで、ピースボート災害ボランティアセンターが企画した「石巻ユースアンバサダー」の2名も参加、世界18カ国(日本を含む19カ国)20寄港地を巡り、各国で震災の体験や教訓を伝えるため、様々なプロジェクトを実施してきました。

(後援:石巻市、石巻市教育委員会、石巻専修大学、公益財団法人慶弔遣欧使節船協会)

2名は、石巻市と姉妹都市のチビタベッキア市(イタリア)での証言会、今年で400周年を迎える慶弔遣欧使節の子孫と言われる「ハボン」の姓を持つコリア・デル・リオ(スペイン)での国際交流、そして船旅の最終寄港地となった石巻での被災現場の検証や復興商店街への訪問を案内するなど、多くの活動と学びを経験しました。

この旅の経験を地元の復興に活かしたいと、この度、報告会を実施します。若者たちの世界各地での体験と、これから地元復興に向けた取り組みへの決意。ぜひ取材・報道などご検討ください。

■ 「石巻ユースアンバサダー」世界一周報告会 IN 石巻

日時 : 10月27日(日) 18:00~19:30

場所 : ピースボートセンターいしのまき (宮城県石巻市立町1-5-21)

連絡先 : TEL. 0225-25-5602

※11月27日には、東京でも報告会を実施予定です。

■ 「石巻ユースアンバサダー」紹介

○ 崎村周平さん (女川町出身、30歳)

東日本大震災では、石巻市南浜にある当時の職場で被災。自身は避難し難を逃れるが、当時大学生だった弟と祖母を津波で失った。被災後、友人と物資の配達や炊き出し等も行い、現在はデザイナー「Graffiti Writer D-BONS」として活動中。世界一周で訪れた各国では、被災体験の証言に加え、洋上で描いた“大漁旗”の寄贈を行い、今回の石巻寄港時に掲げた巨大大漁旗デザインにも中心的に関わった。

○ 高橋さやかさん (石巻市出身、28歳)

東日本大震災では、石巻市三河町の職場で被災。職場のビルから波に飲まれる町を目の当たりにする。その体験から得た「財産よりも命が大事」という教訓をベトナム、イタリア、ジャマイカ、メキシコなど各国で伝えた。地元では、震災後に立ち上げた劇団「夢まき座」の団員でもあり、2014年秋に向けては、慶長遣欧使節船「サンファンパウティスタ号」にまつわる演劇を予定しており、台本の執筆も担当している。

■ 「第80回ピースボート 地球一周の船旅」概要

【日程】 2013年7月18日~10月10日[85日間・横浜発着]

【寄港地】 18カ国20寄港地(日本を含む19カ国)

[ベトナム/インド/ギリシャ/イタリア/フランス/スペイン/ジャマイカ/メキシコなど]

【使用客船】 オーシャンドリーム号(総トン数 35,265トン)

【主催】 [旅行企画・実施] 株式会社ジャパングレイス [コーディネート] 国際NGOピースボート

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボートセンターいしのまき

TEL. 0225-25-5602 MAIL. kyuen@pbv.or.jp